

一般財団法人 共立国際交流奨学財団 主催

日本語体験コンテスト in 上海 入賞賞品「共立賞」

中華人民共和国 2015年度 日本体験旅行

開催日： 2016年1月21日（木）～26日（火）

開催地： 北海道 札幌・小樽

★実施報告動画はこちらから★

★クリックでムービースタート



参加者5名（入賞者4名、引率者1名）

	氏名	カタカナ	性別
入賞者	袁 玥炜	エン ゲツイ	女
	王 一川	オウ イツアン	男
	許 思玮	キョ シイ	男
	丁 乙	テイ オツ	女
引率者	蔣 文婕	ショウ ブンケツ	女

日程表 1～3 日目

日時	時間	日程	食事
1/21 (木)	07:30 10:40 13:05 14:45	上海(浦東) 発(NH940) 中部空港 着 中部空港 発(NH4833) 千歳空港 着 JR 移動(千歳空港-小樽)	昼: × タ: × (各自)
1/22 (金)	終日 夜	小樽の見学 余市ニッカウキスキー見学 自由時間	朝: ○ 昼: ○ タ: ○
1/23 (土)	AM 12:00 15:00	歩くスキー体験(中島公園) ランチ ホームステイ開始(ホテル出迎え)	朝: ○ 昼: ○ タ: ○



1 月 22 日 (金)



小樽の見学



余市ニッカウキスキー見学



1 月 23 日 (土)



歩くスキー体験(中島公園)



日程表 4～6 日目

日時	時間	日程	食事
1/24 (日)	17:00 夜	ホームステイ終了 自由時間	朝:○ 昼:○ 夕:○
1/25 (月)	AM 17:00	ショッピング 北海道大学留学センター訪問 市内大学生との交流	朝:○ 昼:○ 夕:○
1/26 (火)	09:00 15:30 17:10 18:30 21:10	ホテル出発 千歳空港内見学 千歳空港 発(NH68) 羽田空港 着 羽田空港 発(NH971) 上海(浦東) 着	朝:○ 昼:○

ドーミーインでは毎晩無料で夜泣きそば
(ミニラーメン)が食べられます!

1月23日(土)～24日(日)



ホームステイ体験



1月25日(月)～26日(火)



北海道大学訪問



市内大学生との交流



千歳空港お見送り

参加者感想作文

参加していただいた学生さん4名には、感想作文を書かせていただきました！

1. 北海道大学を見学して感じたこと
2. ホームステイをして感じたこと
3. 今回宿泊した小樽のホテル周辺で感じたこと

※参加学生の文章をそのまま掲載しています。

袁 玥炜 (エン ゲツイ)

1. 北海道大学は雪もきれいし、木も多いし、確かに自然がすばらしい大学だと思います。留学生センターで大学の様子とか、留学生に対しての政策とかたくさん聞いてくれました。留学生の生活がどうかも分かってきました。そして、日本人の大学生と中国と日本のことを相談して、日本では部活が多いこととか、塾に通う人がたくさんいることとか、テストがそんなにきびしくないことが分かりました。
2. 本当に親切な人です。おいしいお菓子やでんぷらや刺身などをいっぱい作ってくれて、ありがとうございました。友達もいっしょに来て、中国語と日本語のことわざとおもしろい言葉についてたくさん交流しました。部屋もすごくきれいでした。スーパーと白い恋人パークにつれて、本当に楽しかったです。
3. 運河にも駅にも近くて、便利だと思います。道がすべりやすいけど、雪がすごくきれいで大好きです。お店もたくさんありますし、買いものと食事でも便利です。

王 一川 (オウ イツアン)

1. 大学がすごく大きくて、けしきがとてもきれいでした。大学生とも交流して、日本の若者と中国の若物との違いがわかり、日本独特な文化と大学生活を知りました。入部関係のことも教えてもらい、とてもすばらしい体験でした。
2. 日本人のみなさんは外国人に対してもやさしくしんせつでいろいろなことを教えてくれ、またいろんな場所にもつれてくれて、たくさんのおもてなしをしながら勉強しました。日本人の生活習慣も知りました。早ご飯は米、みそ汁と魚の伝統的なコンビ。やはり一番感じたのは“家”と言うあたたかい感じですが、またお会いしたいと思っています。
3. けっこうにぎやかで、免税店もたくさんあって、すごく便利だと思います。そして、外国人がたくさんいることがわかりました。ほとんどの店に3か国語以上の説明が書いていました。それに加え一部の店内では多国語を使える店員がいて、かんしんしました。

許 思玮 (キョ シイ)

1. この前、日本の大学は敷地面積が小さいと聞きましたが、今回北海道大学を見て、やはり地域によって状況が変わっていると思います。校内ではバスもあるとは思っていませんでした。建物と自然との調和もうまく出来ているようで、雪景色は本当に素晴らしいです。また、留学生センターを見学させていただきましたが、そのハードウェアはもちろん、ソフトウェア、つまり留学生が参加できるイベントや、利用できる相談室などもかなり完備だと思います。もしこのような大学に入れば、きっと素晴らしい留学体験ができると信じています。
2. 日本の親と中国の親とはやはり子供に対する教育理念が違っていると思います。ホームステイの二日目、ホストファミリーと一緒に雪遊びをしました。その時、子供が転んでも、あるいは雪に陥って雪だらけになっても、お母さんとお父さんは「もういいでしょう、このままじゃ風引いちゃうよ」のようなことを言いません。それに比べて、中国の親は自分の子供を保護しすぎるじゃないかと思っています。また、私の世話をしていたホストファミリーがちょっと特別かもしれませんが、子供をタブレットとかをやらせてやって、自分はほかの事をするのではなく、いつも子供と一緒に遊ぶ親は本当に尊敬すべきだと思います。
3. 小樽だけでなく、日本の各都市が共通していると思いますが、夜になると街が静かになるのです。コンビニを除いて、店はほとんど9時ぐらい閉店してしまうのはちょっと不便ですが、落ち着いた雰囲気が漂っている街も、それこそその魅力があると思います。一度だけ、夜一人で散歩しましたが、感じたのは街の寂しさではなく、むしろ優しさでしょう。誰も邪魔せず、耳を澄ませば、運河の流れ音も聞こえる街は、きっとみんなが憧れているでしょう。

丁 乙 (テイ オツ)

1. まず、面積の広さです。真白くて、自然の豊かさが感じられます。国際交流センターでは先生たちからいろいろな北大について、日本の状況について紹介してくださり、大いに参考になりました。中国人の留学生とも多くの質問応答したりして、連絡先まで交換し、これからも話することができるようになりました。また、市内の学生さんとも非常に楽しく交流を行なって、日本学生の明さに感心しました！
2. 非常に楽しかったことです。とても親切でいろいろ考えてくださり、友達までさそって話しが弾んでいた。ことわざのかるたや、たこやきなどやって、一緒に「嵐にしやがれ」を見たりして、すごくテンションが上がったんです。「白い恋人パーク」もおもしろかったです。
3. にぎやかで、とても便利だという点です。駅はすぐ向こうにありますし、周りにも大沢の伝統的な建物があり、運河までもあまり時間がかからなくて、本当に良い場所だと思います。